

SFC 研究所ラボラトリ年次活動実績報告書

ラボ名称	ゆるいコミュニケーション・ラボ			
ラボ代表者	氏名	加藤 文俊	所属	環境情報学部
ラボ設置期間	2016年2月3日 ~ 2022年1月31日			5 年間

構成メンバー（提出時点）		
氏名	所属・職位	役割
加藤 文俊	環境情報学部・教授	ラボの代表者として、運営を統括する。
熊坂 賢次	名誉教授	主に、学習や知の創発のための新しいコミュニケーションのあり方について、研究を行う。
井庭 崇	総合政策学部・教授	主に、創造的活動を支援するコミュニケーションの技法について研究を行う。
石川 初	環境情報学部・教授	主に、創造的空間や環境、メディアについて研究を行う。
野中 葉	総合政策学部・准教授	主に、現代社会と宗教、異文化研究の視点から創造的な組織や社会的役割について研究を行う。
若新 雄純	政策・メディア研究科・特任准教授	ラボのプロデューサーとして、主に外部との連携推進や研究企画の立案を行う。
佐藤 崇弘	SFC研究所・上席所員	
木村 紀彦	SFC研究所・上席所員	
小菅 慶一	SFC研究所・所員	
五十嵐 雄太	SFC研究所・所員	

年次活動実績報告

研究活動報告 （設置申請書，継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。）

4年目は、以下の研究を行った。

- ①地方のまちにおける、若者と地域コミュニティの相互発展に関する研究
 - ・市民参加による創発的な地域イノベーションモデルについて成果の発表
 - ・複数地域の連携による創発プラットフォームを継続して検証
- ②若年無業者（ニート）などが社会に求める居場所の価値や意味、社会的活動に関する研究
 - ・実証研究のための法人運営や当事者の共同生活・共同活動拠点を継続運営し、実証研究
- ③「正しさ」に縛られない新しい学びの場や人材育成に関する研究
 - ・企業・自治体・学校等と連携して実践的プログラムを実施し、調査・研究
- ④個人の納得感や成長感を重視した、新しいキャリア観育成に関する研究
 - ・企業や自治体と連携し、具体的なサービスの策定・運用を通じて実証研究
- ⑤企業組織におけるイノベーション促進のための創発プラットフォームに関する研究
 - ・研究委託企業と協力し、組織内イノベーションを促進する研修プログラムを实践
- ⑥ひきこもり・不投稿の若者を対象とした新しい在宅学習のあり方に関するパターンリサーチ
- ⑦慶應SFCエキセントリック・リサーチ奨励制度の運営
 - ・SFCにて「慶應SFCエキセントリック・リサーチ支援制度」を継続し、実証研究
- ⑧「ゆるいコミュニケーション」の行動ポリシーと促進に関する研究
 - ・学会やORF等でラボ活動の成果発表

研究成果（学術論文、著作物、メディア露出等）

記事 2019年6月4日 NEWS PICKS 「人と違う」を歓迎するチーム。「変わり者」が組織に化学反応を起こす
<https://newspicks.com/news/3920969/body/>

発表 2019年11月22日 ORF2019 ゆるいコミュニケーション・ラボ
あやしくて創造的なゆるい組織コミュニケーション
<https://orf.sfc.keio.ac.jp/2019/session/s-06/>

研究事業WEBサイト 慶應SFC エキセントリック・リサーチ奨励制度
<http://yurui.sfc.keio.ac.jp/eccentric/>